

## 令和7年度 市政懇談会について（東部地区）

| 開催日（曜日）      | 会 場   | 時 間         | 出席人数 |   |    |
|--------------|-------|-------------|------|---|----|
|              |       |             | 男    | 女 | 計  |
| 令和7年4月21日（月） | 安田公民館 | 14:00～15:30 | 19   | 5 | 24 |

### 1. 出席者状況

#### ○市側出席者

市長、副市長、教育長、総務部長、政策企画局長、建設部長、教育部長、秘書広報課長

### 2. 会の概要

#### ○開会（秘書広報課長）

- ・出席者紹介
- ・会の趣旨説明

#### ○あいさつと施政方針の概要説明（山本市長）

市長と語り合う会・地区別懇談会の状況を踏まえ、日中に5地区で市政懇談会を実施することとした。皆さんと活発に意見交換する場としたい。

人口減少や少子高齢化に伴う担い手不足、自然災害の頻発・激甚化など、地方行政を取り巻く環境は深刻化してきている。

その一方で益田市では明るい兆しも見えている。例えば、高津川が4年ぶりに清流日本一に振り返り、全国山城サミットでは予測を上回る多くの方々の参加があるなど、市民の皆様や地域外の方々に益田市の魅力や価値に気付いていただいた。萩・石見空港東京線は令和11年3月まで運航が決定、大阪線は8/8から8/14までの7日間に運航期間が伸びた。また、益田アムスメロンが夕張メロンに続く2例目のGI登録を受け、国のお墨付きをいただいた。

観光の分野においても、12月に中国・寧波市を訪問し相互に交流を深めることを確認した。また益田市観光協会が川崎市観光協会・石垣市観光交流協会と連携協定を締結するなど、新たな交流の可能性、観光客誘客の可能性も生まれてきている。

地域DMOとして「一般社団法人ますだプライドクリエーション」が設立され、今後、観光庁の支援を受けながら、観光の戦略づくり、実施部隊となっていくことになっている。更には吉田地区の区画整理事業（南部地区事業）を実施するほか、三隅・益田道路が令和8年3月末までに開通予定、吉田地区と高津地区を結ぶ県道元町人麿線高津工区も着手される。

このように、益田市の発展の潜在要素がさらに引き出される可能性が出てきたことから、今年度の施政方針はキーワードを「地域の潜在力を活かした持続可能な発展」とし、以下の4つの重点方針を掲げた。

### ①中山間地域振興と交通確保

中山間地域の生活の維持に向け、自助・共助・公助の最適バランスを追求し、官民連携や近隣自治体との連携によって、飛行機やバス路線などの地域公共交通の維持確保を図っていく。

### ②観光と交流の更なる推進

日本全体では海外からの観光客が大幅に増加しており、特に今年は大阪・関西万博が開催されることにより、更なる増加が見込まれている。こうしたチャンスをとらえ、観光交流の機運の高まりを積極的に活用していきたい。

### ③地球温暖化への対応

益田市では、照明をLEDに替えたり、施設の屋根に太陽光発電装置を設置して、なるべく再生可能エネルギーを活用するようにしており、現在では市役所の庁内で使用する電力は全て再生可能エネルギーで賄っている。さらに、今後、電気自動車の活用、或いは主に夏場・冬場、熱中症予防の観点を踏まえて、服装のウォームビズ・クールビズを通年化し、冷暖房の使用も適切にしていこうと考えている。

### ④益田市型中高一貫教育の推進

益田市内の高校等と連携した取組や、島根大学や松江高専と連携して小・中学生の学力育成に取り組んでいる。今後も学力を育成とともに高校卒業後の選択肢を広げるように、より魅力的な教育環境を目指していきたいと考えている。

## ○各部局からの報告

### <総務部>

#### (1) ハザードマップの更新

- ・令和6年度に最新の防災情報を反映したものに更新した。
- ・県が指定した中小河川洪水浸水想定区域や防災重点農業用ため池について掲載している。
- ・大雨等の避難時の避難の方法やタイミングなどを記入しておくシートを活用いただきたい。
- ・ハザードマップの内容などについての地区説明会や防災講習会の開催希望があれば、危機管理課まで連絡いただきたい。

#### (2) 街路灯設置事業費補助金

- ・街路灯整備による交通安全確保・犯罪防止を目的に実施するもの。LED街灯の新設が上限2万円、蛍光灯をLEDの更新した場合は上限5千円。電灯施設や既存電柱利用により補助金額は変わる。申請手続きも含め危機管理課に問い合わせいただきたい。

#### (3) 高津川総合水防演習

- ・5/29の9時30分から、高津川左岸河川敷で実施する。
- ・国土交通省中国整備局、島根県、益田市、津和野町、吉賀町による実施。
- ・防災知識の普及、防災意識の向上を図るために実施。都合のつく方はぜひ参加いただきたい。

### <建設部>

#### (1) 山陰道

- ・三隅・益田道路は今年度中の開通に向けて進めている。
- ・市内を横断する山陰道の全ての区間が事業化され、益田道路、益田西道路、益田・田万川道路につい

て、今年度引き続き測量設計・用地買収が行われる予定。

(2) 国道9号

- ・西平原町の自転車・歩行者道整備については、4/15に地元説明会が開催され、今度詳細設計や測量業務に入る。
- ・木部の自転車歩行者道整備は引き続き工事を行う。地元の皆様の協力をお願いしたい。

(3) 都市計画道路 元町人麿線

- ・高津工区は令和7年度に事業完了、開通予定。
- ・令和6年度に吉田工区が事業認可されたことを受け、今後の整備が期待される。

(4) 市道

- ・市道下本郷・久城線は令和7年6月に整備完了の予定
- ・令和7年度の市道整備事業は市内18路線を予定している。
- ・市道の維持修繕については市民から多くの要望をいただいているが対応がなかなか追いつかない。緊急性の高いものから優先して着手することとなる。ご理解いただきたい。
- ・道路管理にかかる助成事業について

▶ 私たちの道事業

生活道路や排水路を、地域で機能回復・改善する経費を助成するもの。

1件当たりの限度額は、原材料費を購入する場合は20万。機材借上料については5万円を助成

▶ 狭あい道路拡幅整備事業

都市計画区域内の市道幅員4メートル未満の道路に接した建築物等の敷地や、増改築時に道路復旧用地を無償提供いただいた場合に、園庭や擁壁樹木等の地上物件の撤去に対し30万円、用地の分筆にかかる費用に対し20万円助成する。

▶ 市道及び河川の除草事業

自治会・愛護団体に大変お世話になっている。令和6年度に1㎡あたり15円に単価改定した。

(5) 益田川左岸南部地区土地区画整理事業

- ・令和6年3月に組合を設立認可し、4/14に設立総会を開催している。
- ・令和7年度においては、都市計画道路中吉田中須線と中吉田公園において、測量業務や設計業務を進めるほか、地区内の道路の一部について新設改良を実施予定としている。

(6) 空き家対策

- ・地域振興課の空き家バンク制度とタイアップをしながら進めるとともに、老朽危険空き家等の除去工事に対し補助を行なっている。
- ・詳しい内容については建築課へお問い合わせいただきたい。

(7) 木造住宅の耐震診断に係る経費助成、改築・建替経費の補助金、ブロック塀等安全確保補助金

- ・詳細は建築課へ相談いただきたい。

< 教育部 >

(1) 施設整備事業

▶ 学校施設の耐震化

益田中学校の渡り廊下は夏頃工事完了し、これにより耐震化100%となる。

▶ 学校トイレ改修

令和7年度に高津中学校、東陽中学校のトイレ改修を実施

令和7年3月31日現在の改修率は、小学校60.5%、中学校47.5%となる。

▶雪舟の郷記念館改修

6月から令和8年1月まで改修工事。令和8年4月リニューアルオープン予定。

(2) 学校給食について

・物価高騰の中、栄養教諭の工夫・努力では賄えないため値上げする。

(小学校：+33円、中学校：+37円)

・増額分は激変緩和措置として、市が3分の2を負担する。

(3) 益田市型中高一貫教育の取組

▶算数数学パワーアップ教室の取組

夏休み・冬休み・春休みに実施

島根大学・松江高専・島根県立大学の学生が小・中学生の学びを支援することにより、子どもたちの学びに向かう意識を育む。

▶4 高校魅力化発信事業

市内4高校の補助金を交付し、高校生が小・中学生に対し魅力化を図る活動を展開する。

▶中高連携学力育成推進事業

益田東高等学校において学びの場を提供する。

夏休みにおける英語授業を令和7年度から開始予定。

(4) 文化振興関連のイベント紹介

・令和7年度はグラントワ開館20周年となる。

・県立石見美術館、萩市立須佐歴史民俗資料館、市立歴史文化交流館の3館連携で、中世益田氏・近世益田家に関する企画展を実施

・4/26～6/16：中世益田家関連展示。

・5/10、5/11：シンポジウム開催。

## ○意見交換

質問項目は以下のとおり。詳細は別紙のとおり

- 有害鳥獣の被害について
- 津田漁港の環境整備とごみ搬出について
- リサイクル工場の振動・騒音被害について
- 北浜海岸の観光客のごみ不法投棄について
- 海外から益田市への誘客について
- 市職員・OBの地域活動参加について
- 移住対策について
- 市役所の課の名称変更について
- バス路線の廃止について
- 小・中学校のエアコン設置について
- 水郷祭取り止めの理由について

## ○閉会（秘書広報課長）

## 意見交換

| 質 問 事 項 等  | 回 答   |
|--|---|
| <p>①有害鳥獣の被害について</p> <p>クマ・イノシシ・鹿・アライグマ・ヌートリア・ウサギの獣被害が多く、離農される方もいる。またクマ被害防止対策として、財産である柿の木を切ることは財産放棄ともなる。個人での駆除は限界がある。個体数の適正化を言われるが、このままでは離農が進む。小規模農家の育成について指導・援助いただきたい。</p> | <p>①有害鳥獣被害は依然としてあり、県と連携しながら農林水産課が対応しているが、なかなか追いついていない。特定外来種と違ってクマは生育保護の観点から、個体数が減っている状況では基本的に保護される。今では被害を及ぼす可能性がある場合は殺処分となっている。保護団体もあり悩ましいが、実際に個体数調査をしていただき、殺処分に向けて市としても要望している。</p> |
| <p>②津田漁港の環境整備とごみ搬出について</p> <p>大雨時には津田漁港に流木等のごみが溜まり処分に苦慮している。高齢化により 70～80 代の高齢者が環境整備に携わっており、数年後には実施できない状況になる。海岸ごみの搬出にかかる機械経費等を市に負担いただきたい。</p>                               | <p>②大雨時の流木等の処分については、持ち帰り検討したい。環境整備の担い手減少については、なるべく地元の方に対応いただきたい。昨年度より作業単価を増額する形で支援を強化している。継続に向け工夫したい。</p>   |
| <p>③リサイクル工場の振動・騒音被害について</p> <p>自宅裏にリサイクル施設ができ、騒音・振動被害で困っている。</p>   | <p>③市で担当できる職員に話をつなぎ、何か対策ができないか検討したい。</p>  |
| <p>④北浜海岸の観光客のごみ不法投棄について</p> <p>北浜海岸は夏には多くの観光客が訪れ、バーベキューなど楽しんでいるが、中にはごみをそのままにして去る人達がいる。何かいい対応策はないか？</p>   | <p>④不法投棄になると思われる。警察に相談されるのが一番良いと思う。</p>   |
| <p>⑤海外から益田市への誘客について</p> <p>海外からの観光客に対しては個人的におもてなしし、「日本に来た時にはここに来たい」という場所が作れないかと考えている。海外からの観光客を呼び込めるような益田市にしていきたいと思っている。市にもいろいろ協力をお願いしたい。</p>                               | <p>⑤海外の観光客のおもてなし、大変ありがたいと思っている。市として連携できることはないか、持ち帰り検討したい。</p>   |
| <p>⑥市職員・OBの地域活動参加について</p> <p>どこの町内にも市職員やOBがいると思う。地域の地域活動に積極的に参加いただき、雰囲気や要領を覚えて、地域おこしに関わるよう指導していただきたい。</p>  | <p>⑥職員には地域行事に参加するよう伝えている。新規採用職員の講話において、市民の一人として地域の行事等に参加するよう話している。またOBについても退職辞令交付の際に、今後は住民として地域で活躍してほしいと話している。強制はできないが雰囲気を作るようにしている。より一層地域で活躍</p>                                   |

⑦移住対策について

益田市は温暖な気候で自然災害も少なく、環境がすごく良い。それをアピールして移住につなげていただきたい。観光協会とも連携して実施されてはどうか？

⑧市役所の課の名称変更について

市役所の課の名称が何度も変更している。例えば、人口拡大課が連携のまちづくり推進課になり今回地域振興課になった。どのような方針で変更されるのか？

⑨バス路線の廃止について

住民はバス会社の方針に翻弄されている。市のトップからの働きかけをお願いしたい。住民が泣き寝入りするようになってはダメ。住民から訴えがあったから対応されるのでは遅いと思う。

⑩小・中学校のエアコン設置について

小中学校のエアコン設置の状況を聞きたい。

するよう声掛けしていきたい。

⑦益田市の魅力発信は外部団体とも連携して進めている。観光協会から観光情報を発信することで間接的に移住につながるかもしれない。益田市でも移住定住の促進を進めており、今後も移住につながるような施策・PRを行なっていきたい。

⑧H26.2月に人口拡大計画策定の際、地域住民の定着と地域外住民の流入を目指し、政策企画課と併せて人口拡大課とした。その後、業務過多等があり政策企画を分離し人口拡大課とした。その後、国の地方創生の流れに沿って、人口拡大計画に代えて益田市総合戦略や総合振興計画を策定した。またひとつづくり協働構想を策定し、ひとつづくりとまちづくりを車の両輪として進める意味から、連携のまちづくり推進課となった。このほど地域公共交通については空港対策と合わせ非常に大きな問題となっていることから、地域公共交通と空港利活用を一緒に進めるため交通対策課を創設し、このことにより連携のまちづくり推進課を地域振興課に改めた。

部署名については、業務内容や状況の変化に応じて変更している。

⑨バス路線の廃止については憂慮している。人口減少に加え、地方では自動車に頼る部分が大きく、バスやJR利用者が激減している。それにより採算も非常に悪化し、市も赤字補填を続けてきている。市としてもバス路線の維持に努めてきたが、少子高齢化による運転手不足があり便数の維持が難しい状況。よって利用実績が少ない便は廃止となっている。

廃止の3路線については乗合タクシーを運行している。交通事業者とも協議しながら、交通弱者の移動手段が閉ざされないよう協議・検討していきたい。

⑩小・中学校のエアコン設置については、普通教室は全て設置し、特別教室も1校につき2部屋設置したところ。体育館のエアコン設置は規模が違い莫大な経費がかかる。体育館は災害時の避難所になるこ

|   |   |
|---|---|
| <p>①水郷祭取り止めの理由について<br/>水郷祭が中止になった理由をお聞かせいただきたい。</p> | <p>とからもエアコン設置の必要性は感じているが財源的に追いつかない。避難が長期化する場合などは、エアコンが設置されている部屋に分散するなどしていただきたい。</p> <p>①課題はいくつかある。1つは担い手確保ができていないこと。市役所や観光協会・商工会議所の職員により維持していたが、市民全体で祭りを担うには程遠い状況。担い手を公募するも大規模な花火大会を実施するには及ばない状況であった。</p> <p>益田まつりは駅前のゆかたまつりと並行し8月下旬に開催することになった。</p> <p>もう1つの問題が打ち上げ場所の確保。近くに風力発電施設があり、損害賠償のリスクがある。</p> <p>もう1つの理由が財政的な問題。市の補助金と市内企業の協賛金で賄うが、企業の協賛金が集まらず、市の補助金も増額できないことから、今後の開催は難しい状況である。</p> |
|---|---|